

徳島大学大学院医科学教育部
発生分化再生医学特論特別講義

斎藤 通紀博士

京都大学大学院医学研究科
機能微細形態学教授

生殖細胞の発生機構と その試験管内再構成

7月13日(水) 16:30～18:00

疾患ゲノム研究センター1階
交流ホール

ヒトの体は、少なく見積もって、約210種類、総数60兆個の細胞が集まって出来ています。これらの細胞群は、それぞれが特別の個性を持っており、その個性が正しく形成・維持され、機能することが、生命活動に不可欠です。細胞それぞれの個性を決定づける基本情報、それをエピゲノム（クロマチン後成的修飾のゲノムレベルでの総体）と呼び、エピゲノムの違いが細胞の分化・増殖・刺激への反応・老化・病的状態への変化を規定します。斎藤先生は、エピゲノム制御の本質を理解し、細胞の分化・増殖・機能を自由に制御することを目指した研究を進めておられます。徳島大学医科学教育部では「発生・分化・再生医学特論」を開講しており、当該関連分野を先導する研究者による特別講義を定期的に行っております。この度、斎藤教授に来学いただく機会を得、講演いただくことになりました。多数のご来聴をお待ちしております。なお、本講義は大学院特別講義を兼ねます。

J Cell Biol. 2011 Mar 7;192(5):781-95.

Nat Genet. 2008 Aug;40(8):1016-22.

Nat Protoc. 2007;2(3):739-52.

Cell. 2009 May 1;137(3):571-84.

Genes Dev. 2008 Jun 15;22(12):1617-35.

問合先: 疾患ゲノム研究センター生命システム形成分野(大学院医科学教育部免疫系発生学)
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)